がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
がん治療のブレイクスルーを担う医療人育成

第28回 東京大学・横浜市立大学・東邦大学・自治医科大学合同セミナー

平成28年2月19日(木)
18:45-20:15

講師：松田浩一

（東京大学医科学研究所　ヒトゲノム解析センター
シークエンス技術開発分野　准教授）

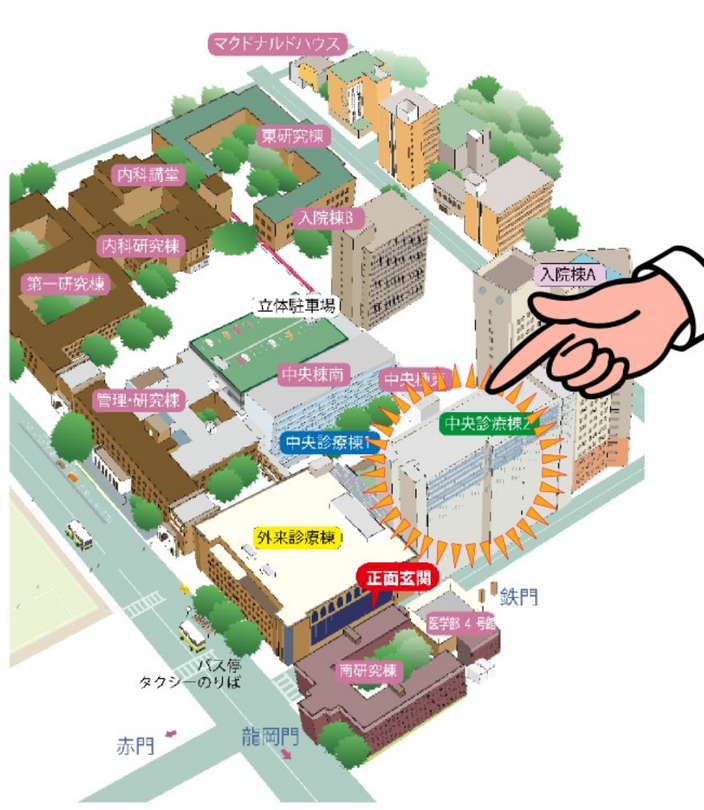
テーマ

「個別化医療へ向けたバイオバンクジャパンの取り組み」

近年、病気の発症リスクや薬剤の効果副作用に関連する遺伝因子を同定する目的で、一塩基多型「SNP」をマーカーとした全ゲノム関連解析が幅広く用いられるようになっています。これまでに2000本以上の論文が報告され、癌の発症に関わる遺伝子だけでもその数は600を超えています。

2003年にスタートしたバイオバンクジャパンにおいて、47疾患、約20万人分のDNAなどのサンプルを集めて来ました。今年度にほぼ全例のゲノム解析が終了し、将来的にはこれらの情報は公的データベースで公開される予定です。また我々のゲノム研究によって、300以上の疾患リスク・薬効などに関連する遺伝子が明らかになり、薬剤副作用予測に基づく臨床研究も並行して進めております。今後これらの情報を医療の現場に応用することで、個人の体質に応じた最適な治療法の選択、いわゆる個別化医療が可能になると期待されます。

※当セミナーは、がんプロフェッショナルの養成、がん治療のブレイクスルーを担う医療人育成のために設置されたプランです。
がん医療に関心のあるすべての若手医師、医療スタッフのご参加を歓迎いたします。



会場：東京大学医学部付属病院
中央診療棟Ⅱ　7階大会議室
〒113-8655　東京都文京区本郷7-3-1

がんプロ事務局　建石良介
ganpro-admin@umin.org

日時：平成 28 年 2 月 19 日(木) 18:45-20:15
場所：東大病院中央診療棟II　7階大会議室
演者：松田浩一
（東京大学医科学研究所
ヒトゲノム解析センター
シークエンス技術開発分野　准教授）